

第2章 中労委全国連絡会議等の運営

1. 中労委全国連絡会議

中労委全国連絡会議は、旧国労委（公労委）において「国労委全国連絡会議」として、昭和34年以降毎年1回開催されてきたものを、統合後、踏襲した会議である。

第21回中労委全国連絡会議は、9月30日（水）労働委員会会館講堂において、中労委会長以下各委員、各区域の委員長（労委規則第88条第2項の規定により選出された者）及び公・労・使の各地方調整委員各1名の参集のもとに開催された。

会議は、冒頭、中労委の菅野会長及び水田厚生労働事務次官から挨拶があった。

次いで、松井事務局長から中労委の活動状況の報告があった後、東京大学社会科学研究所教授である仁田道夫委員（中労委・公）から「非正規雇用改革の視点」、中野厚生労働省政策統括官から「最近の雇用失業情勢等について」と題する講演がそれぞれ行われ、会議は終了した。

2. 地方調整委員長会議

地方調整委員長会議は、旧国労委（公労委）において「地調委委員長会議」として、昭和32年以降毎年開催されてきたものを、統合後、踏襲した会議である。

第21回地方調整委員長会議は、9月30日（水）労働委員会会館総会室において、中労委会長以下公益委員及び各区域の委員長が参集して開催され、冒頭、菅野中労委会長から挨拶があった。次いで「中労委地方事務所を取り巻く諸情勢について」中労委事務局より説明を行った後、関東、中国、四国の各区域の地方調整委員長から各区域に関する報告が行われた後、意見交換を行い、会議は終了した。